

1

労働災害

死亡者数は3年連続過去最少となるも休業4日以上の死傷者数は増加——厚労省集計

厚生労働省は4月30日、2020年の労働災害発生状況を取りまとめた。それによると、2020年の労働災害による死亡者数は802人（前年比43人・5.1%減、2017年比176人・18.0%減）となり3年連続で過去最少となったものの、休業4日以上の死傷者数は13万1,156人（前年比5,545人・4.4%増、2017年比1万696人・8.9%増）となり、2002年以降で最多となった。

労働災害を減少させるために国や事業者、労働者等が重点的に取り組む事項を定めた中期計画である「第13次労働災害防止計画」（以下「13次防」）（2018年度～2022年度）では、2017年比で死亡者数を15%以上、死傷者数を5%以上減少させることを目標としている。

死亡者数は、13次防の目標を超えた減少となっているが、死傷者数については、13次防の起算点である2017年と比較すると13次防の重点業種である陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設および飲食店で増加となり、同計画の目標の達成が困難な状況となった。

同省では、特に死傷者数が増加している陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設に対して重点的に取り組むとしており、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の普及啓発や、「STOP！ 転倒災害プロジェクト」の推進などに取り組む、としている。

労災死亡は3年連続で過去最少に

2020年の労働災害による死亡者数は802人と3年連続で過去最少となっ

た。13次防の重点業種では、建設業が258人（前年比11人・4.1%減、2017年比65人・20.1%減）、製造業が136人（同5人・3.5%減、同24人・15.0%減）、林業が36人（同3人・9.1%増、同4人・10.0%減）となっている。

休業4日以上の死傷者数は13万1,156人（前年比5,545人・4.4%増、2017年比1万696人・8.9%増）となった。新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害は6,041人となり、これを除くと12万5,115人（前年比496人・0.4%減、2017年比4,655人・3.9%増）となっている。

社会福祉施設で死傷者数が増加

13次防の重点業種では、陸上貨物運送事業が1万5,815人（前年比433人・2.8%増、2017年比1,109人・7.5%増）、小売業が1万5,341人（同675人・4.6%増、同1,460人・10.5%増）、社会福祉施設が1万3,267人（同3,222人・32.1%増、同4,529人・51.8%増）と対前年比で増加している。一方、飲食店は4,953人（同188人・3.7%減、同232人・4.9%増）で、対前年比で減少した。13次防の重点業種の2017年比では、全ての業種で増加している。

事故の型別では、特に死傷者数の最も多い事故の型である「転倒」が3万929人（前年比943人・3.1%増、2017年比2,619人・9.3%増）、「動作の反動・無理な動作」が1万9,121人（同1,412人・8.0%増、同2,944人・18.2%増）で増加している。転倒災害は、全体の23.6%を占め、そのうちの60.8%が休業1カ月以上となっている。平均休業日数は41.8日だった。

なお、前年比で見ると、新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を含む「その他」が7,620人（前年比6,119人・407.7%増）となり、著しく増加している。

年齢別では、20歳未満を除く全ての年代で死傷者数が増加した。特に60歳以上が全死傷者数の約4分の1を占め、3万4,928人（前年比1,213人・3.6%増、2017年比4,901人・16.3%増）となった。

業種別の労働災害発生状況

製造業の死亡者数は2年連続で減少

業種ごとの分析によれば、製造業では、死亡者数は前年比で5人（3.5%）減少、2017年比で24人（15.0%）減少した。製造業の死亡者数は2年連続の減少だ。一方、死傷者数も前年比で1,198人（4.5%）減少、2017年比で999人（3.7%）減少している。2020年の鉱工業生産指数では対前年比で大きく減少しており、このような状況の中で、死亡者数、死傷者数ともに前年より減少した。

事故の型別にみると、長期的には減少傾向であるものの、依然として死亡者数、死傷者数ともに、機械等による「はさまれ・巻き込まれ」が最多で、全数に占める割合は死亡者数で33.1%、死傷者数で24.2%を占めている。

製造業の業種別の死傷者数では、食料品製造業が最多で、全数に占める割合は31.0%となっている。特に金属製品製造業の死傷者数は、前年比431人（10.3%）減少、2017年比504人（11.8%）減少となっている。

建設業の死亡者数は3年連続減少

建設業では、2020年度の建設投資見通しが前年度比3.4%減となるなかにおいても、有効求人倍率は依然として高く、人手不足の状況にある。このような状況のなかで、死亡者数（前年比11人・4.1%減、2017年比65人・20.1%減）、死傷者数（前年比206人・1.4%減、2017年比152人・1.0%減）ともに減少した。死亡者数は3年連続の減少だ。

事故の型別では、依然として死亡者数、死傷者数ともに「墜落・転落」が最多で、全数に占める割合は死亡者数で36.8%、死傷者数で31.8%を占めるものの、長期的には減少傾向にある。とくに死亡者数では、「墜落・転落」が95人となり（前年比15人・13.6%減、2017年比40人・29.6%減）、初めて100人を下回った。

林業の死亡者数「激突され」が最多

林業では、死亡者数（前年比3人・9.1%増、2017年比4人・10.0%減）、死傷者数（前年比27人・2.2%増、2017年比39人・3.0%減）ともに前年比で増加したものの、2017年比では減少している。

事故の型別にみると、減少傾向ではあるものの、依然として伐木作業等における「激突され」が最も多く、全数に占める割合は、死亡者数で38.9%、死傷者数で25.6%となっている。死亡者数は、「激突され」（前年同、2017年比7人・33.3%減）が前年同となったものの、「墜落・転落」（同2人・28.6%増、同6人・200.0%増）等で増加している。

陸上貨物では死亡災害が減少傾向

陸上貨物運送事業では、新型コロナ

ウイルス感染症の感染拡大による外出自粛等の影響により宅配便取扱個数が増加している。そのような状況のなかで、死亡者数は前年比で14人（13.9%）減少、2017年比で50人（36.5%）減少した。一方、死傷者数は前年比で433人（2.8%）増加、2017年比で1,109人（7.5%）の増加となっている。

事故の型別では、死亡者数は「交通事故（道路）」が最多で、全数に占める割合は36.8%となったが、3年連続で減少している。一方、死傷者数は、荷役作業中等の「墜落・転落」が最多で、全数に占める割合も27.3%を占める。近年、「転倒」（前年比147人・6.0%増、2017年比364人・16.3%増）、「動作の反動・無理な動作」（同259人・10.5%増、同531人・24.1%増）で増加傾向にある。

小売業の死傷者数は前年比675人増

小売業、社会福祉施設、飲食店の災害発生状況については、事故の型別の死傷者数で、いずれの業種も「転倒」が全数の約3割を占め、増加傾向にある。

小売業の死傷者数は、前年比で675人（4.6%）増加、2017年比で1,460人（10.5%）増加となった。労働者数の増減を考慮した死傷年千人率（1年間の労働者1,000人あたりに発生した死傷者数の割合）でみると、小売業の死傷年千人率は前年比0.11ポイントの増加となった。

社会福祉施設の死傷者数は、「転倒」（前年比620人・18.9%増）、「動作の反動・無理な動作」（同766人・22.3%増）による死傷者数の増加に加え、新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害（1,600人）の発生もあり、全体では前年比3,222人（32.1%）の増加となった。死傷年

千人率でも、社会福祉施設の死傷年千人率（3.09）は製造業（2.67）を上回っている。

飲食店では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、営業制限等の影響もあり、労働力調査の2020年の雇用者数（役員除く）は前年比で7.2%減となっている。このような状況のなかで、飲食店の死傷者数は前年比で188人（3.7%）減少したものの、2017年比では232人（4.9%）増加している。

事故の型別の死傷者数は最多の「転倒」（全数の28.0%）に続き、「切れ・こすれ」（全数の19.6%）が多い。「切れ・こすれ」による死傷者数のうち、約半数（51.5%）が30歳未満で発生している。

外国人労働者の死傷者数が増加

派遣労働者の労働災害発生状況では、2020年の派遣労働者の死亡者数は、8人（前年比7人減）となっている。死傷者数は5,307人（前年比604人減）だった。

死傷者数を業種別にみると、製造業が2,098人、陸上貨物運送事業が620人、商業が432人、建設が87人などとなっている。

一方、外国人労働者の労働災害発生状況では、2020年の死亡者数は30人（前年比9人増）、死傷者数は、4,682人（同754人増）となった。

死傷者数を業種別にみると、製造業で2,273人、建設業で797人、商業で332人などとなっている。国籍別にみると、ベトナムが1,245人、中国（香港等含む）が707人、フィリピンが682人、ブラジル624人などとなっている。

（調査部）